

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.6.5/6.15 No. 76 連絡先 FAX 042-555-1911



「普天間移設先は辺野古、日本全土に訓練拡大」と日米共同発表 鳩山首相は公約破り辞任し 菅首相が受け継ぐ



米海兵隊普天間基地の「移設」問題に関し 5 月 28 日、日米安全保障協議委員会 (SCC) が共同発表した文書は、「2006 年 5 月 1 日の SCC 文書『再編の実施のための日米ロードマップ』に記された再編案を着実に実施する決意を確認した」と明記し、旧自公政権が結んだ米軍再編計画を全面的に踏襲することを表明しています。

普天間基地 (宜野湾市) の移設先についても「キャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域に設置する意図を確認した」と明記しました。さらに共同発表は「二国間及び単独の訓練を含め、米軍の活動の沖縄県外への移転を拡充する」とし、「徳之島」(鹿児島県) を明記しています。徳之島では日常的な訓練を想定していることも、6 月 1 日の参院外交防衛委員会で平野博文官房長官が明らかにしています。

そして「日本全土の自衛隊の施設・区域も活用」するとなりました。鳩山首相は 27 日の全国知事会議で「移転」する訓練の例として、これまでの米軍機と自衛隊機の共同訓練だけでなく、普天間基地や米空軍嘉手納基地での米軍機による単独訓練や、海兵隊のヘリ部隊と地上部隊との共同訓練をあげています。防衛省は日米共同発表文書を全国 330 自治体に配付しています。

全国大会



日本平和委員会第60回定期全国大会に参加しました

5 月 29,30 日、山梨県の笛吹市で開催された日本平和委員会第 60 回定期全国大会に参加しました。全体会では荻野正直・笛吹市長、緒方靖夫・日本共産党副委員長が来賓としてあいさつしました。

桃・ぶどう日本一の郷、笛吹市は 2004 年 10 月に合併し誕生しました。「市議会で最初に取り組んだのが『核兵器廃絶笛吹市平和都市宣言』です」と、市長は誇らしげに語っていました。

私は、全国大会参加はかなり久しぶりでしたが、横田基地の資料も作り、発言 (上の写真) してきました。全国の平和委員会の素晴らしい地域での活動や、米軍基地・自衛隊基地の実態や粘り強い歴史的な闘いなども知ることができました。

開催地山梨県の北富士演習場、静岡県東富士演習場の「富士を撃つな！」の思いも痛切に感じました。また戦後、米軍北富士基地拡大にともない米軍人相手の売春宿が、富士吉田、山中湖、忍野、河口湖、勝山に急増し、「バタフライ」「オンリー」と呼ばれた売春婦は 700 人を超え、農家の一室を借り受けた「パンパンハウス」が 150 軒も立ち並んだという事実 (『山梨の戦争と平和 北富士を考える』桜井真作著より) は、ここでもか、と衝撃でした。福生や立川にも赤線地帯がありました。戦争と軍隊は、女性の尊厳をどれだけ傷つけるのでしょうか。

今年の全国大会は、青年と女性の参加が大きなテーマの一つでした。帰りの車中では I さん (女性) と、横田基地の米兵が絡む女性問題が話題になりました。(高橋美枝子記)

米軍への「思いやり」世界一 (No. 76 裏面)

米国防総省は『基地構造報告』(2009年米会計年度版)で、海外38の国・地域にある716の米軍基地の資産評価額などのデータを示しています。

在日米軍基地の資産評価額(現存する基地をつくりかえたとしたらお金がいくらかかるかという額)

の総額は、ドイツを抜いて世界一です。在日米軍基地の資産評価額は総額で377億3480万ドル。これに対して日本は405億9350万ドル。1ドル=100円で計算すれば4兆円を超えます。

在外米軍基地資産評価額の上位5位 (単位・ドル)

- ① 嘉手納空軍基地 (日本) 53億1670万
- ② 三沢空軍基地 (日本) 44億7980万
- ③ 横須賀海軍基地 (日本) 39億2310万
- ④ 横田空軍基地 (日本) 37億6870万
- ⑤ ラムステイン空軍基地(ドイツ) 30億0010万

横田基地の施設整備に約2,800億円の血税投入

① 思いやり予算のうち提供施設整備に32年間で1,805億円

1978年度から思いやり予算は開始されましたが、提供施設整備は1979年度からです。2010年度までの32年間で横田基地には左の表のように家族住宅をはじめ、様々な施設が提供され、合計で約1,805億円の税金が投入されました。

② 米空軍基地を横田に集約した「関東計画」で450億円

1973年度から1978年度まで、関東の米空軍基地を横田に集約する「関東計画」で450億円を日本政府が負担しました。「思いやり予算」のさきがけのようですね。

③ 米軍再編経費 2010年度までの4年間で約544億円

米軍再編により、航空自衛隊航空総隊司令部が府中から横田基地に移転することになりました。下の図のように、航空総隊司令部庁舎をメインに、この際、古い施設を壊し、新しい施設建設をと託児所、宿泊施設などなど、日本の国民の税金を湯水のように使っています。

*「思いやり予算」は、労務費、水光熱費、訓練移転費が含まれています。沖縄のSACO関連経費も第2の「思いやり予算」です。

施設名	施設数	予算額
隊舎	9棟	9,413
家族住宅	1,343戸	65,322
貯油施設	1カ所	1,134
汚水排水施設	1カ所	130
ごみ処理施設	4カ所	5,376
油分離施設	1カ所	75
雨水排水施設	1カ所	37
運動施設	3カ所	2,278
学校	3校	3,136
育児所	2棟	1,725
郵便局	1棟	599
青少年センター	2棟	1,156
厚生施設	3棟	11,192
銀行	1棟	653
宿泊施設	1棟	3,500
病院	1棟	945
消防署	2棟	1,649
管理棟	17棟	23,541
保安槽	1カ所	682
保安施設	1カ所	118
工場	7棟	5,266
倉庫	10棟	5,290
整備用格納庫	3棟	2,852
訓練施設	2棟	549
駐機場	1カ所	8,038
滑走路	1カ所	6,641
管制塔	1棟	701
ユーティリティ	7カ所	17,705
道路	1カ所	806
計	1,431	180,518



←予算額・単位: 百万円 (上図の青色は航空自衛隊施設となっておりますが、ほとんどが日米共同使用です。奥富喜一福生市議の提供。)